

水コンサルタントの職場

働き方改革への取り組み

水コンサルタント各社は、社員がよりよい環境で、より高いレベルにスキルアップし、また日々生きがいを持って仕事に取り組めるよう、様々な視点から多様なサポートを行っています。

働きやすい職場環境

水コンサルタント各社は働きやすい職場環境を目指し、ノー残業デーの促進や発注者に適正な工期確保等を要望しています。



多様で充実した教育研修

水コンサルタント各社は、研修を通じて次世代人材の育成に努めています。水コン協では人材育成を目的に技術講習会や若手研修会、施設見学会等を開催しています。



環境保全と社会貢献

一般市民や子どもたちも参加する水環境保全等の社会貢献活動や、広報活動を通じて、上下水道の水環境保全における役割等についての理解促進を図っています。



社会に貢献する若手コンサルタントの声

40年先の市町村の水ビジョン策定に参加



S・Hさん
計画業務担当
専攻：社会環境工学
趣味：スクーバダイビング

水コンサルタントを志望した理由は？

東北出身で、東日本大震災の時に水のありがたみを実感したのがきっかけです。学生時代には最先端の浄水方法を学ぶ研修にも参加でき、そこで水処理の面白さを知りました。水コンサルタントになろうと思ったのは、水道事業の運営が多様化している中で、いろいろな製品やシステムを幅広く活用して、最適案をお客様に提案できるという点が、自分がなりたいと思っていた技術者像に合っていたからです。

仕事の社会性を感じる時ありますか？

先輩を見ていて感じるのは、コンサルタントが作る計画次第で、市町村の水のおいしさが変わることもあるという点ですね。最近は豪雨や地震など自然災害による断水もあり、災害対応や災害に強い水インフラづくりも水コンサルタントのフィールドですので、社会的な使命は日々感じています。

当面の目標は何ですか？

大学で水道関係の勉強はしてきたのですが、仕事は学問と違って、予算や納期など事業として考えなければいけないところがたくさんあります。今は経験を積んで、知識や技術を吸収し、お客様からのお質問やご相談に、自分の言葉でお応えできるようになることが目標です。

既存の施設を最適な形で、有効活用していく



T・Mさん
実施設計担当
専攻：都市工学(主に土木工学)
趣味：ロードバイク

どんな仕事を担当していますか？

土木の実施設計を手がけています。老朽化した下水道施設の耐震診断とその補強プランの作成、あとは長期的な視点で最適な管理を行っていくストックマネジメントも担当しています。国内の水道・下水道施設は全体的に老朽化が進んでいまして、今ある施設をいかに活用していくか、というところが大切なテーマになっているんです。

新しい技術に接することはありますか？

水インフラは新しい技術の宝庫と言われています。私の職場では、先日、3D CADを使ってのプレゼンテーションを行いました。二次元の図面よりも空間のイメージがお客様にとって理解しやすいため、大変好評でした。

仕事では何を大切にしていますか？

仕事でわからないことに直面したら、悩んでいないで先輩や上司に聞くことですね。水コンサルタントの世界は幅が広く、奥も深いので、自分の勉強だけでなく、それぞれの専門の先輩から教わることも大切なんです。私の場合、入社1年目は、コミュニケーションを取る能力を磨く期間だったように思います。

自分が関わった計画がやがてカタチになる



K・Yさん
計画業務担当
専攻：環境都市工学
趣味：日本全国美味しいもの探し

仕事ではどんなことを心がけていますか？

「工程管理」「チェック」「わかりやすいこと」の3つを心がけています。工程に遅れが生じないように全体を俯瞰した上で作業すること。ミスがないようにチェックを怠らないこと。そして、立派な資料も相手に伝わらなければ意味がありませんので、わかりやすい資料を作成することです。

仕事のやりがいを教えてください。

プロジェクトの上流過程に関与している、という意識を持って業務に携われる点ですね。計画業務の醍醐味は、自分が検討した内容がその後、事業となって形づくられていくプロセスを肌で感じられるところにあります。

今後の目標は？

資格の面では技術士の取得です。また自分自身のあり方としては、幅広い知識や経験を有した水コンサルタントになることです。日本そして世界を取り巻く水問題は、さらに多種多様化、複雑化していくはずです。そこでは、豊富な知識や経験から解決へと導く柔軟な思考や、多面的な物事の見方など、多くの能力が求められると思います。近い将来、あらゆる問題に直面した際に、対応できるような水コンサルタントであるよう、日々研鑽に励んでいます。

生活に不可欠の水インフラが仕事の対象



K・Tさん
実施設計担当
専攻：土木工学
趣味：歌うこと

どんな仕事を担当していますか？

水道施設の耐震診断や耐震補強設計に携わっていて、中でも土木構造部分を担当しています。配水塔のような調査がしにくいところでは、ドローンを活用した現地劣化調査により耐震診断していくこともあります。

仕事ではどんなことを心がけていますか？

私に対するお客様の期待値を上回る成果を出すことを目指しています。より高いレベルをクリアし、「次もこの人にお願いしたい」と思われるような水コンサルタントへ成長していきたいと考えています。

仕事のやりがいを教えてください。

市町村をはじめとするお客様の要求、それと技術的な課題を踏まえて、街の将来やあるべき姿を想像しながら、社内技術者や社外メーカーとのヒアリングを経て、検討、提案していく仕事は、やはり大きな手応えがあります。また、自分が携わったプロジェクトが市町村のウェブサイトで公表されたり、設計を担当した案件が竣工した時もやりがいを感じます。

